

河内神社報

発行所:〒731-5151
広島市佐伯区
五日市町上河内
http://kochijinja.org
河内神社
社務所

初詣は氏神様から

宮司 山田 茂雄

新年、平成二十三年が良き年でありますよ
う、まずは地元の守り神、氏神様・河内神社
にお参りし、心からの祈りを捧げましょう。
氏神様は、身近で私たちの生活を見守って
くださっている地域の神様です。私たちの祖
先は、昔から神社を心の頼りとしてきました。
初詣は、最初に氏神様にお参りし、身心と
もに祓い清めます。新しき年を迎えて御神威
を新たにされた氏神様の力をいただき、一年
の御加護を願ひ、家内安全、厄祓い、商売繁
盛、合格等を祈願し
ましょう。

尖閣列島問題、不
況、地球温暖化、家
族崩壊など多くの課
題が我々に突きつけ
られています。誰か
が解決してくれるの
を待つのではなく、
これからは一人一人
出来ることから変えていくことが必要です。



正月のお祭りと行事

歳旦祭 元日・午前9時

参拝開始・授与所始め 元日・午前0時

御神札、御守(交通安全・合格等)、
福入り御神籤、破魔矢、開運熊手、
干支土鈴など授与しております。

元日はあつたか甘酒、お子様には
しあわせポン菓子配布もあります。

新年のご祈願

家内安全、合格祈願、交通安全、安産祈願、商売繁盛、
厄祓い、歳祝いなど拝殿にて受け付けております。

元日 午前0時〜午後5時

2日 午前9時〜午後5時

3日 午前9時〜午後5時

4日以降 電話でご予約ください。

河内神社社務所(082)928-2283

獅子舞登場 元日・午前10時半と午後0時半

河内神社の境内にて、獅子舞同好会による開運厄
除け獅子舞が行われます。

【厄年早見表】 数え年

男 前厄	本厄	後厄	女 前厄	本厄	後厄
25歳 昭和63年生(1988)	42歳 昭和46年生(1971)	61歳 昭和27年生(1952)	19歳 平成6年生(1994)	33歳 昭和55年生(1980)	37歳 昭和51年生(1976)
昭和62年生(1987)	昭和45年生(1970)	昭和26年生(1951)	平成5年生(1993)	昭和54年生(1979)	昭和50年生(1975)
昭和61年生(1986)	昭和44年生(1969)	昭和25年生(1950)	平成4年生(1992)	昭和53年生(1978)	昭和49年生(1974)

【歳祝早見表】 数え年

還暦 61歳 昭和26年生(1951)	傘寿 80歳 昭和7年生(1932)	白寿 99歳 大正2年生(1913)
古稀 70歳 昭和17年生(1942)	米寿 88歳 大正13年生(1924)	上寿 100歳 大正元年生(1912)
喜寿 77歳 昭和10年生(1935)	卒寿 90歳 大正11年生(1922)	

平成23年の河内神社のごよみ

1月1日(祝)	午前9時	歳旦祭
2月11日(祝)	午前10時	建国記念祭
3月13日(日)	午後2時	稲荷神社大祭
4月10日(日)	午後2時	祈年祭(大祭)
4月29日(祝)	午前10時	河内忠魂社慰霊祭
7月3日(日)	午後2時	夏祭、夏越大祓、茅輪神事
7月17日(日)	午後2時	祇園祭(御旅所御神幸)
8月14日(日)	午後7時半	献灯祭
10月8日(土)	午後6時半	秋祭前夜祭(神楽奉納)
10月9日(日)	午後2時	秋祭(例大祭)
11月15日(前夜)		七五三祭
12月11日(日)	午後2時	新嘗祭(大祭)
12月31日(土)	午後6時	除夜祭(大祓)
毎朝		日供祭
毎月1日・15日		月次祭

日供祭・月次祭では、氏子の皆さまの日々のご安
泰をお祈りしています。午前7時半が、境内の清掃
がすんだ後、執り行いますのでご参拝下さい。

出張祈願祭

地鎮祭(新築)、家祓い(入居)、上棟祭、商売繁盛、
安全祈願、開店祭等日時のご相談、ご予約ください。

河内地区(上河内・下河内・上小深川・下小深川・
藤の木・河内南(彩が丘))の氏神様河内神社へは



氏神様河内神社の御札とともに神宮大麻 (伊勢の神宮の御札)をおまつりしましょう

皆さまのご家庭に、地元の氏神様「河内神社」の御札と、日本全土を広く見守る神様「天照皇大神」をおまつりしましょう。「いつも家に災いがなく、家族みんな元気に暮らせませすように」と祈る心、神様のめぐみに感謝する心を持ち続けることにより、家族の絆が深まります。

新年を迎えるにあたり、より新しい力、新しい命をいただくため、御札、御守は新しく取り替えます。

古い御札、御守は氏神様に納め、一年を無事に過ごせたことに感謝しましょう。



御札等は河内神社で授与しております。

伊勢の神宮 小大麻	800円
河内 御札	500円
神宮 御札	200円
小型神棚	1000円
交通御守	500円
学業御守	500円
合格御守	500円
開運御守	500円
仕事御守	500円
健康長寿御守	500円

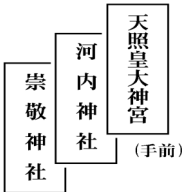
御神札のまつり方

横に並べてまつる場合



お神札のまつり方

重ねてまつる場合

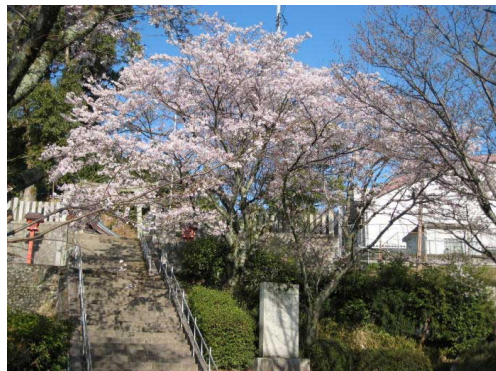


重ねる場合、手前から神宮、河内神社、崇敬する神社の順におまつりします。

神社への思い

河内に生まれ育つて70年。山の幸の松茸や栗、田畑より米や麦の恵みなどを受け、自然界の神様へ感謝の気持ちを抱くようになりました。初取りの松茸・筍・新米や野菜を神様にお供えし、手を合わせて感謝し、ご馳走になる。

そのことを幼少の日々の暮らしから、親の後ろ姿で自然に教わり育ちました。また、河内小学校への行き帰りに、お宮の参道を通り、石段の前で頭を下げ、お札の気持ちを捧げていましたので親しみを感じています。



さて、河内地区は、7、8千年前の縄文時代から人が住み、生活が営まれていたと言われます。私は昔の遺跡や史跡・芸能・文化・生活などを調べ、古里の魅力をもとめる事業を意を同じくする方々と取り組んでいます。

太古より人々は自然の恵みに感謝し、自然のものに神様を感じ、崇め暮らしてきました。河内の古い記録によれば、猿田彦命と天鈿女命の二神の神様を、千百七年前に清明次判という人が奉じて、伊勢の山田から赤い牛に乗って、野登呂に移住したとあります。その後、代々神職を務めた山田家は河内の神社のルーツであり、ロマンを感じます。

歴史を調べ学んでいくうちに、神社への想いと崇敬の念が深まり、河内神社を身近に、愛着を感じている、その一端を思いつくままでに以下に記述します。

〔稲荷神社〕

河内神社の拝殿左側を入ったところにあるお稲荷さんは、小深川から30年前に現在地に移されました。もとは小深川の紡績工場跡に祀られていたので、子供の頃、お祭りに度々お参りしていました。賑わっていた頃を懐かしく想います。

〔神社の裏山〕

毎年初冬に行われる、植林のヒノキの下刈りや間引き、松の剪定に参加し、樹木が手入れをすればするほど立派に成長する姿を見て、お宮から元気をももらっています。一年でも長くお手伝いが出ること願っています。

一目でわかる神社の「つぼ」 — 建築⑤

【虹梁】虹のように中央部が持ち上がる社寺特有の梁。実際はほぼ水平。時代が降るほど端部の渦巻が太く複雑になる。河内神社拝殿正面の虹梁は、渦巻が植物と一体化し、花を咲かせている。(禰宜 山田 岳晴)



河内神社ホームページ

河内神社ホームページ

河内神社

河内神社21年度決算

繰越金	二百五十三万三千円
歳入	七百五十三万五千円
歳出	五百七十二万七千円
残金	三百八十六万六千円
歳入の主なもの	祈禱料百三十五万円、賽銭六十六万円、御札・御守・破魔矢等二百四十万円、玉串料百六十九万円、初穂料・祭典費百二十五万円
歳出の主なもの	祭典費四十六万円、神職給二百五十万円、御札・御守・破魔矢等の仕入百十三万円、会議費・雑費等百二十万円、教化費・保険・負担金等四十六万円
残金内訳	予備資金二百万円、繰越金百八十六万円
決算報告は、	毎年4月に監事により監査を受け、氏子総代会にて承認を受けています。